



圧力波治療の原理

圧力波治療は、疼痛治療および疼痛管理に役立ちます。治療部位に炎症反応が生じて、痛みの部位周辺の代謝活性が増加することにより、この新しい炎症に対し身体が反応します。

圧力波を繰り返し患部に与えることにより生じる微小外傷が、その領域に新生血管形成(新しい血流)を引き起こし、この新たな血流が、組織の治癒を促進します。



ショックマスターによる治療

- ショックマスターによる感覚は患者様それぞれで個人差があります。患者様の痛みの訴えに従って触診により痛みのスポットを特定します。
- ショックマスターでは、最も痛みの強い箇所を最初に治療します。
- 痛みを許容できる範囲の最大量で治療を開始し、痛み領域全体に小さい輪を描くようにゆっくりとハンドピースを動かします。

リハビリテーションで

Hospital

疼痛コントロール

皮膚への触圧覚刺激及び関節構成体への機械的刺激により、ゲートコントロール理論が作用し、痛覚神経線維のインパルスが抑制され、痛みが軽減されます。また、痛みの軽減により、反射性筋収縮の改善にも役立ちます。

血液循環改善

疼痛緩和に加えて、圧力波と振動を同時出力するショックマスターは血液循環改善に優れ、微小循環改善にも役立ちます。

筋緊張緩和

圧力波による触圧覚受容器への刺激によって、 α 運動ニューロンに対して抑制的に作用し、筋緊張を低下させ、関節可動域運動や関節モビライゼーションなどを施術しやすくなります。



トップアスリートに

Sports

疼痛緩和・筋疲労回復

圧力波療法の有効性は、長期の慢性的な筋や腱の機能改善において実証されており、近年の事例とスポーツトレーナーによって様々なスポーツの障害の改善に結果を表しています。

パフォーマンスアップ

トレーニングによる腱にかかる負担を軽減させ、疼痛緩和・筋疲労の回復に加えて、リラクゼーション効果によって選手のパフォーマンスアップに大きく貢献します。

早期回復

受傷後のトレーニングで従来必要とされた休養期間を短縮し、選手の素早い現場復帰、ケガの早期回復に役立ちます。

圧力波の原理

コンプレッサーにより発生させた圧縮空気をパルス状に開放させ、ピストンが衝撃体につくことで圧縮波を生み出しています。

